



48680-ZN600

## ピロボールフロントアッパーマウント

取付・取扱説明書

この度は86用TRDピロボールアッパーマウントをお買い上げ頂き、有難うございます。  
本書には上記ピロアッパーマウントの取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。  
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施して下さい。なお、本書は必ずお客様にお渡し下さい。

- \* 本商品は専用設計品の為、組付けるスプリング・アブソーバーも専用品が必要です。**  
**\* 本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。**

## ■品番・適合車種

品番	適合	型式	年式	備考
48680-ZN600	86	ZN6	'12.04~	組付けるスプリング・アブソーバーは専用品を使用して下さい。 単品使用・他製品との組合せ使用は出来ません。* 1

- 最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。<<http://www.trdparts.jp>>
- 本商品は上記・専用コイルスプリングとの組合せより15mmのローダウンと設定しています。  
一般公道での走行においては法令順守の為、出荷時寸法を厳守しご使用下さい。
- \* 1 本製品を新規組付けする際には、別売りの専用スプリング(48131-ZN620-#)及び86用ショックアブソーバーセット(MS260-18001)が必要になります。

## ■構成部品

	部品名	数量	備考
①	フロントサスペンションサポートRH	1	
②	フロントサスペンションサポートLH	1	
③	ナット	2	M14×1.5
④	フロントスプリングシートUPR	2	
⑤	フロントスプリングシートLWR	2	M52×2.0
⑥	フロントスプリングインシュレーター	2	D=78.5mm d=65.5mm t=1.0mm
⑦	取付・取扱説明書(本書)		

## (注意事項)

構成品の専用付属品以外に、サスペンション取外し後の再使用不可部品(ボルト・ナット等)がありますので、修理書に従い●マーク(再使用不可)の部品(3ページに一覧表)は必ず交換して下さい。

## アドバイス

本製品組付前に、選択したスプリングに付属の取扱い説明書をご覧頂き、スプリングに応じた寸法にアブソーバーを調整して下さい。

## 警告

この内容に従わず、誤った取付、取扱を行うと、人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。

## 注意

この内容に従わず、誤った取付、取扱を行うと、人が傷害を負ったり製品等の物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。

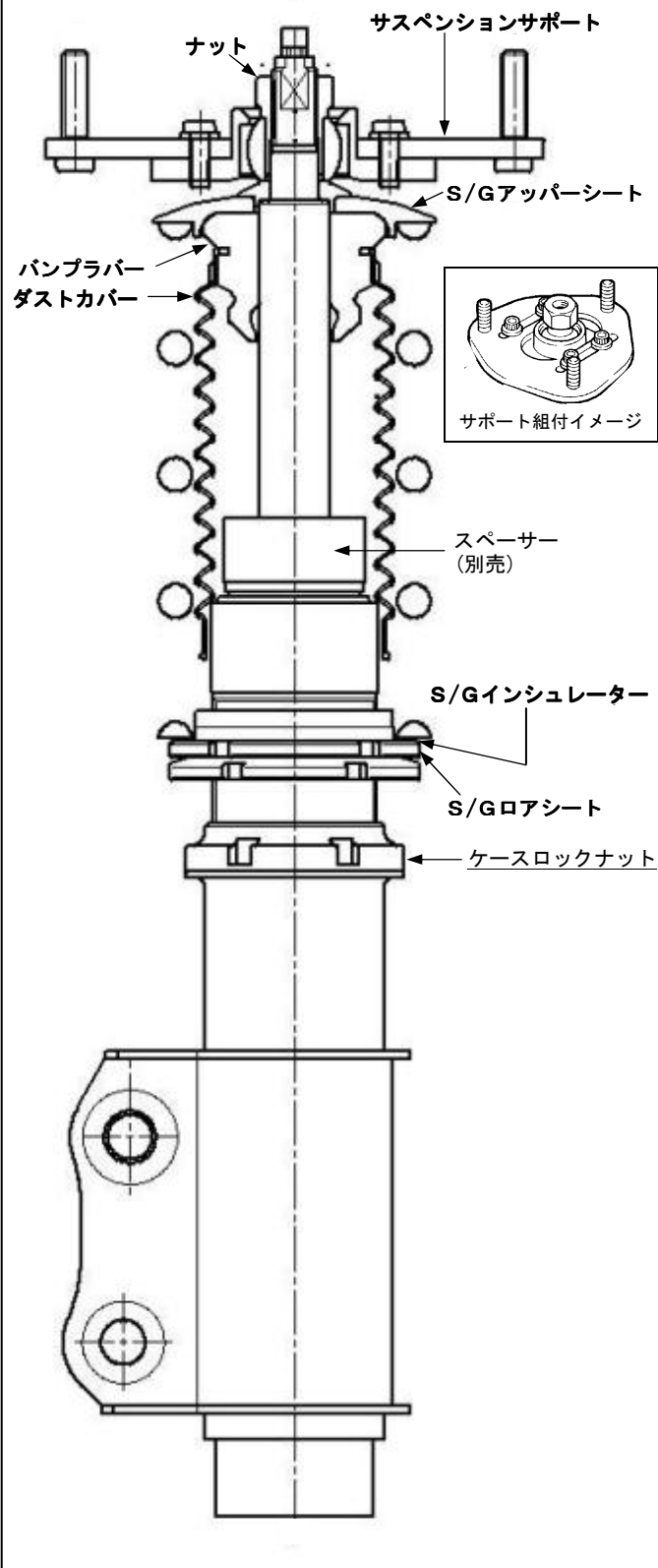
- 警告：車両をジャッキアップする際は正確にジャッキアップポイントに当ててジャッキアップし、リジッドラックで確実に固定して下さい。不安定な状態では作業中に車両が傾いたり、落下の原因になります。なるべく作業リフトにて作業する事を推奨します。
- 注意：装着する前に本説明書を良くお読みになり、正しく装着して下さい。
- 注意：取付作業は陸運事務所の定める認証工場、指定工場及びそれに準じた専門ショップで行って下さい。
- 注意：取付け後も、本説明書は大切に保管して下さい。
- 注意：本商品を譲渡する際には、必ず本説明書もお渡し下さい。



トヨタ テクノクラフト株式会社

## フロントピロアッパー部品組付図

図1



## 1. フロントサスペンションの取外し～分解

1. 車両修理書に従い、車両より純正ストラット Assy 又はTRD車高調整式アブソーバーセットを左右共に取外す。
2. TRD車高調整式アブソーバーセット取付車両は、スプリングをコンプレッサーで縮め、ロッドエンドナットを緩めサスペンションを分解する。

## 2. アブソーバーの寸法決め。

1. アブソーバーのロアケースとスプリングロアシートのロックナットを緩めて取外し同梱品⑤のS/Gロアシートと交換し、選択スプリングに応じたアブソーバーの長さに設定する。  
(詳細はスプリングの取説を参照下さい)

## 👉 アドバイス

- ・スプリングロアシート位置が変化しないようにケースロックナットは114 N・mでロアシートロックナットは44 N・m確実に締付けて下さい。締付け不足は異音の原因にもなります。
- ・スプリングロアシートはアブソーバー下側から入れます。

## 3. フロントピロアッパー部品の組付

1. アブソーバー本体に、スプリングロアシート、(2で装着済)、スプリングインシュレーター、別売りのスペーサー(レート別のスプリングと同時購入必要)、バンプラバーと一体化したダストカバー、スプリング(別売り)、アッパーシート、サスペンションサポートの順に組付けて、ロックナットを取付け、45 N・mで締付ける。

## 👉 アドバイス

組付時、バンプラバーとダストカバーは左図のように1体化し(バンプラバーをダストカバーに嵌込む)組付けて下さい。

## 4. ストラット Assy の車両取付け

1. 修理書の手順に従い、ストラット Assy を左右共車両に取付ける。

## 👉 アドバイス

次ページの一覧表に従って、再使用不可部品は新品に交換して下さい。

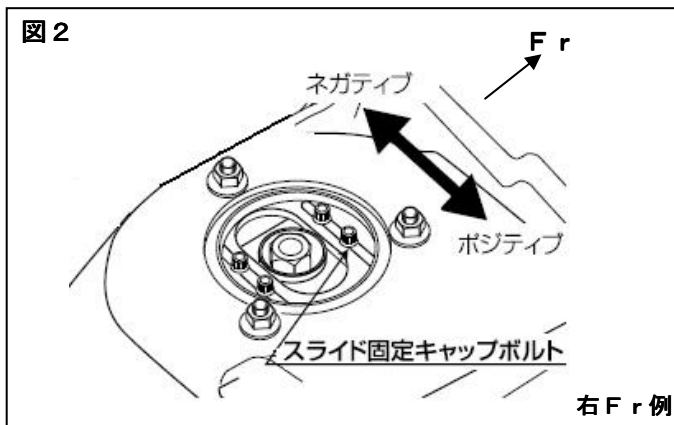
## 👉 アドバイス

サスペンション廻りの本締付けは、車両を必ず1G状態にして実施して下さい。

## 参考 &lt;組換時に必要な再使用不可部品一覧表&gt;

	部 位	品 名	品 番	個 数	備 考
フ ロ ン ト	1	アッパーマウント×ボディー	ナット	SU003-03642	6
	2	ナックル×アブソーバー	ナット	SU003-02889	4
	3	スタビリンク×アブソーバー	ナット	SU003-02887	2
	4	アッパーマウント×ピストンロッド	ナット		2

## キャンバー角調整方法



## 5. タイヤキャンバー角の調整

1. 図2に示すアッパーマウントのスライド固定キャップボルトをゆるめる。
2. センターケースをスライドさせキャンバー角を調整する。

## 👉 アドバイス

車体内側にスライドさせるとネガティブキャンバーに、車体外側にスライドさせるとポジティブキャンバーに調整出来ます。

3. キャンバーゲージ等の測定器を使い、左右のキャンバー角を規定値内に合わせ、スライド固定キャップボルトを仮締めする。次にトーゲージにてトーを測定し、規定値の範囲に合わせる。

## 👉 アドバイス

トーの調整は車両の修理書に従い、行って下さい。

4. 再度キャンバー測定を行い、左右のキャンバー角が規定値内にある事を確認しスライド固定キャップボルト4本を1.2~1.4Kg f-m (11.76~13.72N・m)で締付ける。
5. ホイールアライメントの最終トータル確認とし、サイドスリップテスターにて数値が $0 \pm 5$ mm以内である事を確認して下さい。(推奨 $\pm 3$ mm)

## ⚠️ 注意

- ・プレートスライド部の打刻目盛は目安です。調整は必ず測定機器を使い、左右のキャンバー角が同一になるように調整して下さい。
- ・キャンバー角の付けすぎはタイヤの偏磨耗及び走行性能低下の原因になります。必ずメーカー基準値内で使用して下さい。
- ・キャンバー調整の際には必ずスプリングを抜き、全ストロークさせながらハンドルをロックトウロックで操舵しながら各部に干渉が無い事を確認して下さい。

6. 取付～ホイールアライメント確認の作業終了後、3~5Kmの通常走行を実施し、異音、流れ、振れ等の確認を行った後、作業箇所の締付け確認を実施する。